



第3回 落語を楽しむ会

平成21年3月23日(月) 豊島区立 勤労福祉会館

前座 南亭 勘治 「時そば」

桂 右團治に素人入門してから1年がたち、前座を許されて今回が初舞台。お馴染みの斬を「粋な江戸っ子とドジな野郎」から「馬場の職人と三田の若旦那」に人物設定を変えた「早慶戦バージョン」で・・・

落語 桂 右團治 「お見立て」

「人情斬」が得意とされている右團治が「廓斬」も名人と思わせる好演。「吉原」では遊女の中から好みの女を選ぶことを「お見立て」と言った。花魁が苦手な客を追い帰すために死んだことになってしまったのだが・・・

落語解説 青山 忠一

早稲田大学「落語研究会」の創設者の一人。「都民寄席」の実行委員長。桂 右團治 はじめ早大出身の落語家・寄席芸人を数多く応援している。江戸時代の庶民生活や「吉原」の教育制度など、先生ならではの落語解説。

粹曲 柳家 小菊 (新内師範 鶴賀 喜代花)

新内・都々逸・さのさ・民謡など江戸・明治時代の「はやりうた」の伝承者。寄席では落語と落語の合間の「色物」として短時間の高座であるが、当会が特別にお願いしてほとんどの持ち唄を披露してもらった。お座敷遊びや新内流しを想わせる三味線の弾き語りとトークが大好評。



主催 豊島 稲門会 新宿 稲門会



第三回



異昇(南亭勘治)

平成21年3月23日、平成19年に第1回がスタートした「落語を楽しむ会」の第3回が新宿稲門会との共催により豊島区勤労福祉会館で開催された。当日は120名近い参加者があり、会を重ねることに入場者数が増えている。

今回は会員から右團治師匠に素人入門した南亭勘治(スマセソ私です。感想を後述します)が太鼓・出陣子・めくり等の前座仕事を務めるなど細田委員長はじめスタッフが手作りで本物の寄席さながらの雰囲気を作り出した。参加者も矢澤さん(永楽倶楽部副会長・元早大副総長)海老沢さん(中野稲門会会長・元NHK会長)鷺海(多摩地区稲門会総会の会長)などなど、昨年の「いなほ名人会」を豊島稲門会のリードで23区稲門会が応援した成果か?この会が豊島・23区・東京のみならず早稲田大学の校友会に広く認知されたと思われる方々に来ていただいた。

出しものは前座南亭勘治の「時蕎麦」に始まり、桂右團治師匠の「お見立て」、青山忠一先生の酒脱な解説、ゲスト柳家小菊師匠(第一文学部出身・柳家紫朝に入門・ゴールデンアロー賞新人賞フジサンケイグループ放送演芸大賞ホープ賞など数々の賞



を受賞・新内師範としては鶴賀喜代花の粹曲と、まさに落語の笑い・涙・色気という古典芸能の真髄を解説付きで楽しんでいただけたと手前味噌ながら大成功と思われる。と言うのは「右團治師匠の近年最高と思われる大熱演と小菊師匠の色っぽさ、艶っぽさが良かった」と来ていただいた方々の感想のなかに多くみられたからだ。

懇親会も両師匠のサイン色紙と記念撮影の写真を抽選で贈呈。

第4回出演予定の古今亭菊太楼師匠の出身ゼミ新澤名誉教授のご挨拶などなど新企画盛り沢山で和氣諸々のうちに林副会長の校歌斉唱で幕を閉じた。

次回第4回は平成21年9月3日に日本青年館で開催します。沢山の皆様方のご参加をお待ち申し上げております。

(S55年・商学卒)

第3回落語を楽しむ会に出演して——

1年前、第1回の後、右團治師匠に素人入門しました。とは言え覚えの悪い駄目弟子でしたので自信なく、まさか第3回で前座を務めさせてもらえるとは思っていませんでした。最初で最後のつもりで臨んだのですが、なんかうけたみたいで? 快感になりました! 次回も前座ををお願いします。さらに無謀にも厚かましくも「早稲田サークルのアマチュア作家No.1になろう」なんていう見果てぬ夢を抱いております。今後とも...なにとぞご暴風に!!! お後が宜しいようで...



懇親会

挨拶 浅原英明 豊島稲門会 会長



乾杯

海老沢 元NHK会長



両師匠の白紙 抽選会



校歌斉唱



第3回落語を楽しむ会 写真撮影



閉会

藤森 通弘 新宿稲門会 会長

第4回 落語を楽しむ会 古今亭菊可 改め「菊太楼の真打昇進を祝う会」

日時: 平成21年9月3日(木) 18:30開演

会場: 日本青年館/中ホール

新宿区霞ヶ丘町7-1 Tel. 03-3401-0101

料金: 4,000円(懇親会参加) 3,000円(懇親会不参加)

主催: 新宿稲門会(問合わせ先 山住: 03-3341-6756)

豊島稲門会(問合わせ先 細田: 03-3916-2222)

